

番号	資料名称	種類・数量
I	津軽海峡の気象の資料	
I-1	台風15号(MARIE)速報、昭29年9月30日、函館海洋気象台	B5、12頁
I-2	台風15号に関する処置について、昭29年10月11日、函館海洋気象台	B5、13頁、
I-3	津軽海峡の風浪について、昭29年12月7日、船舶安全法復元性分科会九州班、渡辺恵弘ほか(青函航路貨物船の設計に際し、復原性能の指針に必要な資料をまとめた)	A4、22頁
I-4	青函航路海上気象調査、竹内能忠(函館海洋気象台が昭和22年以降実施した観測データをまとめた、洞爺丸台風以前のもの)	A4、9頁
II	青函連絡船の遭難の状況、各船の状態、調査結果などの資料	
II-1	潜水調査報告書(第11青函丸)、昭29年10月17日、深田サルベージ	A4、4頁
II-2	台風通過時に於ける各船行動図、昭29年10月20日	青図
II-3	造船技術審議会船舶安全部会・連絡船臨時分科会、第1回復原性小分科会議事録、昭29年11月12日	B5、14頁
II-4	航跡図及び沈没船遭難経過	B4、2頁
II-5	米軍による洞爺丸災害調査、昭29年11月12日、運輸省海運調整部	B5、3頁
II-6	天然社雑誌「船舶」の記事「洞爺丸の惨事に想う」、昭29年11月12日	1002-1008頁
II-7	函館地方海難審判理事所長より元良助教教授あて、洞爺丸汽機室浸水状態、昭29年12月3日	B4、1枚(手書き)
II-8	同じく、十勝丸・北見丸の出港時状態及び浸水量その他について、昭30年1月19日	B4、6頁、3組
II-9	連絡船調査団派遣要領(2月14日~19日)、船舶局	B4、2頁
II-10	造船技術審議会連絡船現地調査団参考、15号台風の際沈没した青函連絡船の現況、北海海運局船舶部	B5&4、9頁
II-11	調査メモ(日時不詳)	
III	青函連絡船の図面、設計資料など	
III-1	洞爺丸 線図、昭22年8月、新三菱神戸	青図
III-2	北見丸・十勝丸 機械室と汽缶室の横断面形状図	青図、3組
III-3	第11青函丸 一般配置、昭24年7月、浦賀船渠	青図
III-4	第6青函丸(改造) 復原力曲線、昭22年2月、浦賀船渠	青図
III-5	洞爺丸 機械室全体装置、昭29年7月、函館ドック	青図
III-6	第7青函丸 機械室全体装置図、昭26年8月、函館ドック	青図
III-7	第12青函丸 機械室(石川島製主機)全体装置、昭29年6月、函館ドック	青図
III-8	渡島丸 機械室全体装置図、昭29年8月、函館ドック	青図
III-9	第7青函丸 汽缶室全体装置図、昭26年8月、函館ドック	青図
III-10	第12青函丸 罐室全体装置、昭29年6月、函館ドック	青図
III-11	渡島丸 汽缶室全体装置(平面・側面)、昭29年8月、函館ドック	青図
III-12	渡島丸 汽缶室全体装置(断面)、昭29年8月、函館ドック	青図
III-13	青函連絡船 機関部要目抜粋(大雪丸など4隻)、船舶部船務課	B5、11頁
III-14	主配電盤並非常電源電路系統図(大雪丸など4隻)	B5、8頁
	(注:上記以外に、持ち出されて所在不明のものあり)	

番号	資料名称	種類・数量
IV	青函連絡船の復原性鑑定などの資料	
IV-1	青函連絡船洞爺丸等の復原性鑑定について、 佐藤正彦(日本海事協会会誌、第34号別刷)	B5、28頁及写真
IV-2	洞爺丸水槽試験データ	未整理のもの多数
IV-3	十勝丸ほか水槽試験データ・写真	未整理のもの多数
IV-4	青函連絡船の復原性能比較表、昭30年10月19日	
IV-5	青函連絡船の復原性に関する資料など	未整理のもの多数
IV-6	計算メモなど(浸水計算など)	未整理のもの多数
V	青函連絡船遭難に関する論文	
V-1	CHAPTER 29 ON THE DISASTER OF THE FERRY BOAT S.S.TOYA MARU by HIROSI KATO, MASAHIKO SATO, SEIZO MOTORA University of Tokyo, Japan (発表先は不明)	P503-526 (原紙、一部欠)
V-2	上記と同一内容の論文コピー(題名、著者名の記載なし)	A4、24頁、2部
V-3	論文用の図、写真、データ、メモなど	未整理のもの多数
VI	宇高連絡船紫雲丸の資料	
VI-1	紫雲丸復原性能計算、昭和30年5月18日(運輸省船舶局)	青図A4、4頁
VI-2	紫雲丸復原力曲線	青図A3、2枚
VI-3	紫雲丸損傷概略図	青図
VI-4	紫雲丸船内貨車状態図	青図、2枚